

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- 第12回ブックフェア1
- Book Expo 2005 NYC・合併号のお知らせ2
- 理事会報告・公告3
- 新理事紹介 女性理事誕生!・海外ニュース4
- 委員会報告5
- うちの会社・書籍紹介6
- 出版文化史逍遙(97) 洋書の歴史雑記帳(LII)7

第12回東京ブックフェア

去る7月7日(木)～10日(日)第12回東京ブックフェアが開かれました。今年から7月開催となり、また第16回国際文具・紙製品展を同時開催することで双方の集客増を図りました。梅雨時での出足の心配がありましたが、実際は真夏の暑さで、逆にそちらを心配する声も聞かれました。

初日9時40分、高らかなファンファーレと報道陣の中でオープニングセレモニーが始まりました。主催者団体である当協会からは村田会長が出席いたしました。また今回もブックフェア名誉総裁の三笠宮殿下の臨席を賜りましたが、ご高齢を理由に今回限りということで、一抹の寂しさを感じた開会式でした。

その後の入場受付には長い列ができ、各社のブースに流れていきました。入口付近のブースでは浴衣姿のアテンドたちがうちわを配りながらお祭り気分を盛り

上げていました。

今年は「日本におけるドイツ年」で、巨大なドイツブースには沢山のドイツ出版社の展示が見られ、協会会員ゲーテ書房のご尽力が窺えました。嘗て人文書を担当したことのある自分にとっては懐かしいシリーズを見つけては懐古の念に耽った次第です。

さて協会主催のバーゲン会場に足を運ぶと既に大勢のお客様が選定中。中にはオープニングのテープカットをされた某国の大使もいらして、このままでは一般公開の9日まで在庫が保たないのではと思うほど盛況でした。実際の売上も去年を上回り、約2万冊を売りました。今回新たに出展を希望する会員が増えたため、常連の会員の割り当てを減らし対応しましたが、会場内には未使用のスペースも見受けられ、次回にはワゴン台数を増やす交渉を期待します。(MS記)



オープニング風景



バーゲン会場



テープカットをする村田会長(中央)

Book Expo 2005 NYC

BEA (Book Expo America) はアメリカ最大のブックフェアで、開催地はフランクフルトブックフェアのように毎年同じ場所ではなく、アメリカ国内のいろいろな都市で行われています。今年はニューヨークで6月3、4、5日の3日間開かれました。会場はJacob Javits Convention Centerという所で33丁目のハドソン川に近いところです。ちなみに昨年はシカゴ、そして来年はワシントンDCということです。昨年の参加者は約25000人、今年はニューヨークが会場ということもあってさらに参加者が多かったようです。規模としてはロンドンブックフェアと同じくらいでしょうか。入場料は予約で1日70ドル、3日で110ドルでした。

出展者は大手トレード系の出版社をはじめとして、小さな独立系の出版社や地方の大学出版局、トイ・ギフトなどの各種商品、版權など多岐にわたっています。出展者はもちろんアメリカ国内からだけではないのですが、やはり参加している人は地方からNYへ出かけてきていると言う感じで、フランクフルトなどとは一味違う親しみやすさがありました。サイン会や仮装があちこちで行われていて、ポスター、かんバッジ、ステーションナリーなどのいろいろなお土産品も豊富にありお祭りを楽しんでいる雰囲気が感じられました。

さて私自身の仕事といえば、NYにある出版社を2社訪問することと会場での約20のミーティングでした。長年E-mailのみのお付き合いだった出版社のか



たにやっとお目にかかる機会ができました。またフランクフルトには参加しないアメリカの地方の小さな大学出版局のブースをつぎつぎ訪れ実際に本を見ながらお話もでき、とても貴重な体験でした。

普段東京にいる時にはなかなかお付き合いできなかった書店さんたちと、なぜかNYの日本食レストランで一緒にいる機会もあり、ブックフェアならではのことで感謝しています。最後の日、仕事も何とか無事終わり後は帰るのみという段になってひとと波乱！なんとJFK空港へ向かうタクシーが、イーストリバーに架かる橋付近の事故による大渋滞に巻き込まれて、ぜんぜん動かなくなってしまったのです。同乗の同僚と二人で時計と睨めっこしながらどうなることかとやきもきしましたが、何とか一番北側の橋を渡り飛行機に間に合いました。マンハッタンは島だったと思いが知らされたことでした。(U. P. S. 柿本雅子)

合併号のお知らせ

従来、毎月発行を続けて参りました会報ですが、本年から7、8月号を合併号とし、年11回の発行とさせていただきます。これにより会報委員、事務局も夏休みが取り易くなることはもとより、制作経費の削減ともなります。このことにつきましては6月の理事会におきまして承認いただいております。何卒ご理解の程御願い申し上げます。

会報委員会委員長 栗原七男

理事会報告

日時：平成17年6月27日（月）

委員会報告

1. 委員会報告

(1) 総務委員会

臨時総会 別掲

(2) 広報委員会

TIBFでDirectory2005を配布する。記載事項で業種等も英文併記が必要。

→委員会でもその方向で検討中（山川HD委員長）

(3) 会報委員会

会報7, 8月号は合併号とし、6ページ立て発行する。

(4) 事業委員会

6月9日にTIBFバーゲン出展社会議を行った。規模は例年通り。

(5) ダイレクトリー・HP委員会

- ・ダイレクトリーを今年は1500部作成したが、来年は部数を増やす。図書館等の要望が多いため。また広告収入は予算を大幅に越えた。
- ・委員会には若手を起用したい。コンテンツの充実にご協力願いたい。

(6) 文化厚生委員会

本年度同好会活動予算内訳（昨年実績）単位：万円

ゴルフ：14 (12) テニス：17 (15) 麻雀：8 (6)
釣り：0 (9) 囲碁：0 (2) 新規 ワインの会：2
ビリヤード他：3

計44（昨年度予算45, 決算41）

→ワインの会は会員以外の参加も多いので要検討（山川理事）

→いろいろ試行錯誤して会員が参加しやすい形（会）を作り上げていく。

そのことが協会の意義を高めることになる。（中林副理事長）

2. その他

(1) 関西懇親会 前回29社、62名の参加 前回の新阪急ホテルで9月2日(金)に行くことに決定した。

→開演前に各レブに商品説明をする場を作ったらどうか。（山川理事）

→いろいろ意見は有るが関西の会員に何もしていないし、しばらく続けてみたらどうか。何か見えてくるのでその上で判断すべき。（浮田理事代）

(2) 新理事長から

- ・会員各社を訪問する。
- ・前理事に感謝の意を表したい。
- ・理事長は委員長を兼任するべきではないので文化厚生委員長は鶴理事に御願いたい。→鶴理事の了承を得た。

(3) 委員会参加の呼びかけ

- ・ホームページとメールで行う。（事務局で対応）
- ・理事長会社から総務委員を1名選出願いたい。（関口総務委員長）

→理事長了承。

公 告

先般書類持ち回りで行われました臨時総会の投票は6月26日で締め切られました。
議案に対する投票結果は

議案 a：規約の一部改訂について

b：理事会の推薦する村田誠四郎氏を会長とする

賛成 42社 （出席に対して87%）（数字はa、b共通）

反対 1社

委任状 4社

白紙 1社

計48社（正会員61社）

となりました。協会規約第5章30条および33条により臨時総会の成立と議案の可決を報告いたします。

新理事紹介 女性理事誕生！

絵本の家が理事になるとは、いったいどうして？と驚かれた方もおられると思います。私もそのひとりです。代々、洋書の業界に影響力を待ち、歴史のある大きな会社の代表の方がなさるものと思っておりましたから。

私共は従来通りでは生き残れないと、昨年から直営店をオープンさせたり、新たな方向に転換を計っております。スタッフ9人の小さな会社ですから私も一緒に店当番などもしているところに、理事になるようにとのご要請をいただきました。

もとより迷いはありますが、洋書協会も変化を必要としている時、微力は承知の上でお引き受け致しました。長年、理事の役を続けていらした方々のご苦労を思い、せめてもちょっと刺激のある胡椒役になりたいと思っております。

協会のメンバー皆様のご協力をお願い申し上げます。

株式会社 絵本の家
代表取締役 小松崎 敬子

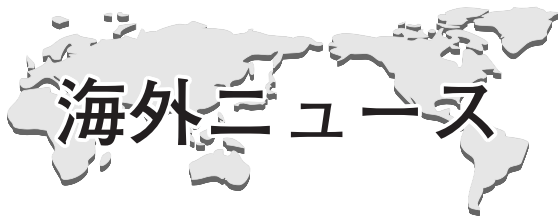


この度JAIP理事会より推薦理事及び文化厚生委員長の大役をお受け致しました。JAIPとのかかわりは1969年月の第一回フランクフルトブックフェア視察旅行に参加したことから始まりました。その後歴代の文化厚生委員長の元で30年近くメンバーとして勤め

させていただきました。元来私は人のお世話をするのが好きなので文化厚生の仕事が性に合っていると思っています。今後のことは前委員長のUPS社マークさんに全てのルールを敷いていただいたので大変助かります。

主なイベントの新年賀詞交換会、サマーパーティ、ゴルフ、テニス、麻雀、ビリヤード等々は、メンバーのゲーテ書房・村山、大洋交易・和田、丸善・中山、友隣社・上原、エイビス・尾崎、太陽図書貿易・小松、西山洋書・西山各氏のご協力のもとに、会員の皆様方へサポートさせていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。

株式会社 東亜ブック
代表取締役 鶴 三郎



◆ Barnes & Noble、ハリー・ポッター新刊の予約は75万冊以上

"Barnes & Nobleによると、J.K. Rowlingのハリー・ポッター・シリーズ新作『Harry Potter and the Half-Blood Prince』の予約数が、同書店とネット書店(Barnes&Noble.com) 合計で75万冊以上になる。"

同書は7月15日の深夜0時に発売になるが、同書店では一刻でも早く手に入れたいと願うファンのために、当日は深夜0時過ぎまでオープンすることにしている。

また、同書店（ニューヨーク、ユニオン・スクエア店）では、東部標準時午後7時20分に、スコットランド、エジンバラ・キャスル在住の著者J.K. Rowlingからの特別なメッセージが同時放送される。

このユニオン・スクエア店で深夜に行われるイベントとして、オーディオ・ブックのナレーターをしている俳優 Jim Daleが登場し（午後11時から深夜0時過ぎまで）、朗読やファンとの交流を行う。

Authorlink.com JUNE/21/2005

◆ Simon & Schuster、マイケル・ジャクソン 関連本について契約

Simon & Schusterのインプリント Atria Booksは、ジャーナリスト Diane Dimond が著すマイケル・ジャクソン関連本（タイトル未定）の英語出版権を買取った。Dimondは論争好きのジャーナリストで、1993年にジャクソンが児童虐待容疑で逮捕された事件を暴露したことがある。

Simon & Schusterは今秋の発売を計画しており、著名な人物についての本であることと、著者が論争的になっていることから、相当数の販売を見込んでいます。

Authorlink.com JUNE/22/2005

◆ LWW と Blackwell、出版物の移譲で同意 医学・生命科学・看護学分野での大手出版社である

Lippincott Williams & Wilkins (LWW) はと、科学分野の大手 Blackwell Publishing は、互いの出版物の所有権を移譲しあうことで、それぞれの顧客への販売力を強化することを発表した。

LWWはBlackwellが持っていた医学生向けレビューのシリーズ8点（back list 123タイトル、front list 47タイトル）を買取った。これにはBlueprints series、the Underground Clinical Vignettes series、Boards and Wards等が含まれる。

"BlackwellはLWWの獣医学タイトル（85タイトル、広範囲の獣医学書）を買取った。このリストには世界中で愛読されているベストセラー、"Five Minute Veterinary Consult"も含まれる。"

これらの移譲は直ちに実行されるとのことである。

businesswire.com JULY/01/2005

委員会報告 <文化厚生委員会>

フォーティ・ラブ（JAIPテニス同好会）

2005年度春合宿「5月14日（土）・15（日）箱根明神平テニスパーク」

当日は雨が予想されましたが日ごろの行いの賜物でしょうか、終わり間際に小雨がぱらついた程度で無事日程をこなすことが出来ました。今回は10社11名の参加で、10時から軽くアップして夕方5時まで一人平均6試合近くこなしたでしょうか、かなり充実した一日を送りました。最後の方ではトーナメントを行い、鶴竜次さん(東亜ブック)が栄誉ある優勝を手にしました。

次回夏合宿は7月23日（土）に西大宮テニスクラブ、次々回は10月半ばに秩父で行う予定です。これから始めようと思っている方、以前やっていたけどかなりブランクがあるという方、いつでもどなたでも大歓迎



です。やさしいコーチ陣がしっかりと面倒を見させていただきます。思いっきり汗を流して、美味しいビールを飲みましょう。

皆様からのご連絡お待ちしております。

<連絡先>カ石（TBL）TEL：03-3942-1102 E-MAIL：ricky111c@hotmail.com

鶴竜次（東亜ブック）TEL：03-3985-4701 E-MAIL：st@toabook.com

うちの会社

(有)フォリオス

〒254-0806 神奈川県平塚市夕陽ヶ丘3-15

藤若竹ビル1F

Tel / Fax : 0463-24-3411

E-mail : y.kogure@folios.jp

http://folios.jp

はじめまして、こんにちは。フォリオス代表の木暮と申します。うちの事務所は平塚の海岸まで約700メートル徒歩10分ほどのところにあります。夏になると水着姿で歩く人の姿がちらほら目に入る、とってもローカル！な場所にあります。ちょっと風の強い日には潮の匂いがします。

そんなところで美術の本やデザインの本、趣味の本やら写真の本、さらには子供の本までを輸入して、小売店さんに卸しています。おとしに作ったまだまだできたてほやほやの会社でして、当然バタバタの連続です……。

「洋書売る」ということについては何かと難しい時代ではありますが、価値のある本をマーケットに提供する、という基本を忘れずに努力を重ねたいと考えています。まずは自分が本に驚き感動し、それを一般の方に伝えることを地道に重ねてゆこうと思っています。

湘南においでの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

書籍紹介

齋藤純生著

「洋書流通の世界 — 代理店の視点から —」

(株) 日本文献出版

(本体価格 2,400円)

本書は昭和31年(1956年)、津田スクールオブビジネスを卒業したばかりの著者(齋藤純生氏)が、開設準備中のドナルド・ムーア社の日本支社にその見習支社長として就職し、以来45年の間にUPS社を誕生させるなど波乱に満ちた体験をもとに、戦後から今日にいたる外国書籍流通を考察した回顧録である。

本書からは、一貫して流れる著者の書籍に対する愛情と、代理店として扱った書籍の拡販に対する情熱を感じることができる。また、著者は出版社との交渉をはじめとして、古い話も詳細に記録しており、その時代の動きが鮮明に描かれている。氏の活動は日本の経済成長と相まって成功したとも云えるが、それ以上に行動力と適切な判断力があってからこそと思う。

現在、大学や企業の図書購入予算の縮小、さらにはオンラインの普及などにより、印刷物としての書籍の流通は低迷傾向であることは誰もが感じることはあるが、この業界で働いている我々は、齋藤氏だけでなく、多くの先輩たちの活動により今日の業界が成り立っていることを改めて考え、今後どのような活動をすべきかを考えるには格好の書である。

最後に齋藤氏の言葉を引用する。「書店は企業体質を変革し、情報の受発信には先端的なシステムを先取り活用することによって、将来にわたる情報の提供者として安定的な役割を果たすことが可能と思われます。」

《ユサコ(株) 尾内昌弘》

上記の本は一般には流通しておりません。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

洋書の歴史雑記帳〔LII〕ドイツ学術受容の歴史(15) 鈴木陽二

◆シーボルトの来日(5) 門弟のドイツ学術摂取(Ⅲ)

シーボルト事件の連座を恐れて長英が逃亡生活に入ったことを前回述べたが、そのとき記した逃亡経路に誤りがあったことをお許しいただきたい。

高野長英が「蛮社の獄」で入牢し脱獄して再び逃亡生活をし自害した経緯は以前記したが、その稿でも彼の蘭学における業績を詳しく述べた。それと重複するが、彼のドイツ原著の翻訳を中心にドイツ学術受容の様子を、改めてたどってみることにしたい。

シーボルト事件が結審したのは1829(文政12年)で、長英はその翌年1830(天保元年)に京都を発って江戸に入り開業医となり塾も開いた。彼の長崎時代のドイツ原著の翻訳は、ドイツの医者でゲーテやシラーの診療も行ったというC.W.フーフェラントの著作の蘭訳本を岡研介と共訳した『蘭説養生録』(1827=文政10年ごろ)があるだけだったが、江戸時代の訳業は目覚しかった。日本で最初の本格的な生理学書といわれた『医原概要』を、内編は1832(天保3年)、外編は1836(天保7年)に脱稿している。ゲッチンゲン大学教授で比較生理学の研究者J.F.ブルーメンバハやT.G.A.ローゼ、またフランスのド・ラ・フェーなどの著作を基にして長英自身の識見を加えている。翻訳ではないが、『西洋学師ノ説』は自然哲学史の論述で、タレス(ギリシャの哲学者)から始まってドイツの哲学者ライプニッツやC.ヴォルフまでの哲学者を、彼の学識によって論述したもので、長英の西洋学術への造詣の深さが知られる著作である。前に小関三英の翻訳について触れた『コンスプリング氏内科書』(14冊)は、ドイツの医師G.W.C.コンスブルックの内科書が原著で、長英もその蘭訳本から重訳しているが、稿本は紛失して目録の記載のみが残されている。長英は江戸の蘭学者鈴木春山と極めて親密な間柄にあったが、春山はプロシャの参謀本部将校ブランド(H.von Brandt)の三兵戦術論の蘭語訳を中心に数種の本語を使用しながら『兵学小識』(45巻15冊)を執筆した。その学問編は春山自身が手がけ、戦術編は高野長英が訳している。1839(天保10年)のことと見られているが(蘭書の輸入期推定などから異論もあり)、この年の暮れ近くに長英は幕府に捕縛され永牢を申し付けられることになった。そのほかにも江戸時代の訳業は数多くあ

ると見られているが、原著不明のものが多く、ここでは割愛する。

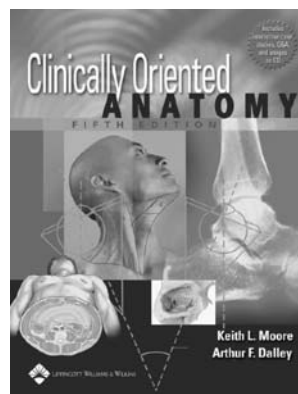
18世紀末ごろになるとロシアやイギリスの艦船が日本近海に出没するようになり、外憂が高まってきた。そういう中で蘭学者などの知識人による鎖国政策の批判が高まり、海防に関する意見が沸きあがってきた。時の老中水野忠邦の治世下で目付から南町奉行を歴任した鳥居甲斐守耀蔵は、蘭学者を中心に幕府への批判勢力を厳しく弾圧した。当時の北町奉行は「桜吹雪の遠山の金さん」でドラマなどでおなじみの遠山景元で、市中取締りの方針で鳥居と対立していた。ともあれ、耀蔵は幕府儒学者で大学頭の林述斎の次男として生まれた関係もあって、蘭学者に敵対意識が濃厚だった。彼は策を弄して蘭学者の弾圧を図り、特に『慎機論』を著した渡辺崋山、『夢物語』を書いた高野長英を幕府批判の罪で厳しく糾弾し、崋山は田原藩において永蟄居、長英には永牢の処分を行った。長英はその後脱獄し再び逃亡生活を送ることになるのだが、逃亡中に果たした彼の学問的業績は実に目覚ましいものがあり、ここではドイツ原著の翻訳についていくつか述べてみることにしたい。

入牢後友人たちの度重なる釈放願いも却下され、出獄の望みが絶えた長英は1844(弘化元年)脱獄し、いったん郷里の米沢に向かうがやがて春山の庇護で江戸に潜入する。春山の死後彼の遺志を継いでブランドの三兵戦術論の完訳を試み、逃走中もその蘭語原書と辞書を片時も離さず翻訳を進め、1847(弘化4年)に『三兵答古知機』27巻を訳了する。続いてプロシャ人デッケル(Karl von Decker)の三兵用兵論を記述した文献のオランダ語訳からの重訳で『埤氏三兵答古知機』を1850(嘉永3年)ごろに訳了する。そしてこの年捕吏に襲われ自刃することになるが、本書は遺稿として刊行は1856(安政3年)だった。

下獄してからの著訳書は実に多く、上記以外にもドイツ語を原著とする著書の翻訳または参考にした著作があると思うが、今それを確認できない。ともあれ、長英の翻訳事業によってドイツの学術がわが国に受容され、根付いた意味は大きい。〔参照文献：佐藤昌介『洋学史の研究』／同氏『高野長英』／高野長運『高野長英伝』(元丸善・本の図書館長)

Clinically Oriented **ANATOMY** *Fifth Edition*

Keith L. Moore
Arthur F. Dalley



■1980年の初版以来、解剖学と臨床医学の重要な関連を解説するテキストとして、医学・歯学からコメディカル分野の学生に好評の『ムーア臨床解剖学』最新改訂第5版。これまでの版と同様、解剖学を高い水準で包括的に理解するためのさまざまな工夫が随所に受け継がれている。初学者から上級生、さらに臨床の現場でも有用な、まさに臨床指向のテキストである。

■新版では、CDとDVD各1枚の新たな付録、重要な概念を解説した新たな囲み記事"Bottom Line"ボックス、特に上下肢を中心とした機能解剖に関する記述の拡充、などが改訂の目玉となっている。付録のCDにはケーススタディと問題集が収められ、臨床関連事項を解説した本書独自の定評ある囲み記事"Blue Box"や多くの図表は書き改められている。

◇改版の特徴◇

●鮮明な写真、診断画像

―体表解剖写真は比類なく鮮明なものに改良され、新たな画像診断に関する内容を追加した。

●定評ある囲み記事"Blue Box"

―臨床との関連を論じたコラム"Blue Box"では、新たな写真、表、イラストを採用し、より一層わかりやすさを追求している。

●新たなイラスト

―130枚を超える新たなイラストを追加し、解剖学的概念を視覚的に理解できるよう促している。

●新コラム"Bottom Line"ボックス

―新たに設けられた"Bottom Line"ボックスにより、読者の理解や知識をさらに補強する。

●付録CD

―インタラクティブなケーススタディと、135問のUSMLEスタイル問題集を収載する。

●付録DVD

―Primal Picture社によるインタラクティブな機能解剖DVD（45日間お試し版）を提供。三次元MRI画像の合成により、人体の階層や方向を自在に操作しながら学習できる。画像には関連情報の注釈が付加される。

* 価格は原価の改定、為替の変動により
予告なく変更することがあります

1,209 pp. 1,073 illus. 2006 10,720円（税込）



LIPPINCOTT WILLIAMS & WILKINS

ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-14

TEL: 03-5689-5400 FAX: 03-5689-5402 e-mail: bsales@wkhjapan.co.jp